

町長日誌

No.196



町長日誌の第196号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

2月12日(水) AM 9:30

朝の打ち合わせが終わり連休明けの町長室で日誌を書いています。先週4日から8日まで東京札幌への出張が続きました。留守の間に流氷が着岸しこちらかなり冷え込みましたが東京も零下の気温が続ぎ、しかもカラカラに乾燥していて、風邪をひいてしまいました。微熱・咳とたんの出る症状が今も続いていて連休の予定は見事にキャンセルとなってしまいました。今の時期咳をしていると「新型コロナウイルス肺炎」と誤解されそうです。この肺炎はクルーズ船のこともあってか毎日報道が過熱気味になっていますが、何故か重篤患者や死亡者が出ているのは中国の武漢に集中していて、多くの国で発生している割には日本国内での広がりや少ないように思います。実際、国内でインフルエンザにかかり死亡する人は毎年1万人いると言われてますから、十分な注意と予防は必要ですが本当に危険なウイルスなのか否かの正しい判断を国に示してほしいと思います。

1月31日(金)

昨日、東京での挨拶回りを終えて紋別に帰ろうとしましたが、前日から早々と雪のため欠航となりましたので、旭川に早朝の便で帰ってきました。旭川

についたときは曇っていましたが欠航するほどとは思えない天候でしたが、次第に空模様は変わり下川を通過する頃には吹雪模様になり、いよいよ願っていた雪が降ってくれそうな予感がします。予報では31日未明に大雪警報が興部にも出るとのことで1メートルほどの降雪量とのことでしたが、本当に降ってくれました。予報程ではないものの一晩で平年並みの降雪量となりました。しかも重い雪で除雪も大変であったと思います。しかしお陰様で夏場の水道水の水量は確保できたと思います。本当にありがたいことです。天に感謝です。

2月3日(月)

正月明けより新年度予算づくりを進めてきましたが本日令和2年度の予算案がほぼ固まりました。新年度はあまり新しい大きな事業はないものの、これまで先送りしてきました公共施設の屋上修繕など大きな費用を必要とする修繕工事を数年に分けて行う考えです。税金等は増えないことからこれまでの貯えを遣り繰りしながらの財政運営になりますが、一般会計ではおおよそ42億6千万円と前年度より約5億円少ない規模の予算案になりそうです。予算案は3月3日から始まる定例議会で審議され3月中旬ごろに決まる予定です。

先日、町内の行きつけの理容院で散髪をしながらの会話です。

「雪が降らないと夏の水道水の水量確保が心配なのだよ！」

《でも、雨が降れば大丈夫なのですよ？》

「いや、雨は直ぐ流れてしまうし濁り易いでしょ。雪は山に春遅くまで積もっていてじわじわ解けてくれるからまるでダムに水を溜めているようなもの。特に興部の水源は宇津沢の奥地で、この雪解け水の流れる細い川を利用しているから積雪量の影響を受けやすいのですよ。」

《知らなかった！ 私は魚釣りをするので雪が少ない方が釣りの季節は早く始まるので喜んでいただけれど》

「雪が少なければ除雪も楽なのは確かなのだけれど、断水になったら理容院も困るでしょ？」

《本当にそうですね。水が無いと仕事にならないですよ！》

さて、蛇口をひねると当たり前のように出る水道水ですが、どれほど自然の恩恵を受けていることなのかお分かりいただけたいと思います。皆様、風邪ひかないでくださいね！ では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。

